

グレース幼稚園の昼食特集



玄関付近に当日の献立を紹介するスペースがあります。

実際に使われている野菜、昼食の実物をおいて子ども達が見て、分かるようになっています。美味しそうですね。



調理室で作られているため、温かい状態で子ども達が食べます。

温かい「汁物」もあります。



↑上の写真はおでんですが、はんぺんが「にんじん」「かぶ」の形になっており、目でも楽しく味わえる工夫、努力をされています。

↓サイズ展開が豊富です。



特大・大・中・「中の小」・小があります。

その他、白ご飯少なめ、おかず少なめ等、子ども達だけでなく、先生方のニーズにも応じていることに驚きました。

それぞれの組によって食べ始めるタイミングが異なるため、調理室では準備するタイミングも臨機応変に変えています。

野菜やお米は「水素水」で洗ったり、炊いたりしています。出来上がりが柔らかくなるそうです。

配膳について

年少組→先生が配ります。

年中組→子ども自身が自分のサイズを言って、昼食当番から受け取ります。

年長組→当番の子ども達が昼食当番にサイズを聞いた上で、他の子どもに配ります。

昼食当番について

保護者も子どもと同じものを食べて、感想を書きます。もちろん希望の量を言うことができます。



子どもと共通の話題ができますし、開かれた幼稚園である印象を強く持ちました。

食物アレルギーの対応について

千里山グレース幼稚園では、アレルギー対応ガイドラインに基づき対応しています。

除去申請をする人は、かかりつけの医師に幼稚園からのアレルギー生活管理指導票・診断書の記載をお願いし提出します。

その後、保護者、勝浦先生、百井先生、片岡さんの4者で面談を行い園内の対応を保護者に伝えます。(コロナ感染状況により、現在は行えておりません)



除去対応が決定すると、毎月除去の子ども個人用のメニュー表（代替品記入）を作成して渡しています。

このメニュー表は担任の先生とも共有をしています。

アレルギー対応1日の流れ

【職員室では】

朝礼時に今日の「献立」を読み上げ、除去の有無などを担任の先生全員で共有しています。

(前日に職員室内のホワイトボードにメニュー・除去者の有無を片岡さんが記入します。)

【調理室では】

朝礼時には、除去者の確認をして全体で共通認識をしています。

調理工程、調理器具、食器などに混入が無いように改めて確認しています。

担当が除去専用鍋を使い、調理をします。



配膳は除去用皿にすべて盛り付け、クラス名・名前・除去対応を記載したメモを付け、

除去専用トレイにのせて完成させ、調理室内でも内容などチェックしています。



さらに、園長先生、勝浦先生、百井先生のいずれかの先生にチェック確認のサインを受け

ます。その後保育室に運び、担任の先生とも確認して子どもに手渡し安全に除去食を配食

できたことを確認しています。



日々献立を考える際、全ての子ども達の健康と安全を守り栄養面にも配慮しつつ、できるだけ除去食の含まれないメニューをと考えています。

又、園全体で、誤食・誤配の無いように毎日の伝達・確認をしています。

片岡さんからのメッセージ



幼児期は味覚形成の基盤を作る大切な時期です。

「偏食」との声もよくお聞きしますが…

子どもたちは、はじめて食べるものや、どうやって食べるのかな？など食べ方の分からないものの味を知らない等、口にしたことがないものには「嫌い」に結び付けていくことが多いように思います。

はじめての出会い（食も含め）経験が少ないとなかなか色々なものを受け入れにくくなるように感じます。

野菜など「嫌い」「嫌だ」と言っている、それを偏食、野菜嫌いとは結びつけず、

苦手感を与えないようにするのが良いように思います。

とは言っても…毎日の食事は大変ですね。

しかしながら、苦手なものでも必ずお皿には登場させて、少しでも食べられたら褒めてあげたり、食べられなかった時にも「次は食べられるといいね」など声かけをされると良いでしょう！

苦手だったものが少しでも食べられた「うれしい気持ち」は子どもたちの自己肯定感に繋がります。そうして、その気持ちをお父さん・お母さんも「嬉しいんだよ」と伝えることで「共感」する気持ちが養われ、心の安定の土台が作られていきます。

今後も子どもたちが、園内で楽しい食事の時間を過ごしていく中で食の大切さを伝えていきたいと思っています。

取材をして思ったこと

初めて昼食当番を行った時や取材をした時も、片岡さんや調理室の方々の優しさ、お人柄の良さに目頭が熱くなりました。

食に対する配慮、工夫が細やかで、幼稚園の方々のご尽力がここでは紹介しきれないぐらいです。

このような環境で昼食を食べる子ども達は本当に幸せだな、と感じました。同時に保護者の方々にとっては、とても安心感がある環境でもあると思います。

この昼食が小学校も続けばいいのに…と思われる方は私だけではないはずです。

是非とも昼食当番になられた際は、参観の延長だと思って、いろいろな昼食風景を見ていただけたらと思います。子ども達がいきいきとしている姿を見ていると、こちらも嬉しくなるはずです。

お忙しい中、取材に応じていただいた片岡さん、調理室の方々、本当にありがとうございました。)